

小・中学校適正規模化実施計画(案)作成にかかる意見交換会

- ・開催日時 平成 24 年 8 月 7 日(火) 午後 7 時 5 分～8 時 35 分
- ・開催場所 牛渡小学校 ランチルーム
- ・出席者 保護者等 11 名

《意見集》

質問1

一番気になるのが、スクールバスの話。牛渡小から美並小学校が3.9kmと書かれているが、4km未満となるのでスクールバスは出ないのか？

回答1

4 kmを超えていないと国からの補助が出ないということですが、だからといって、4 kmを超えていないと走らせられないということではありません。

質問2

牛渡小学校に来るまでに1～2 km歩いている子は、4 kmを超えるという計算でよいのか？

回答2

基準は、家から学校までの距離です。

質問3

兵庫峰や有河、柳梅は4 kmを超えるからスクールバスだけど、この辺は乗らないでというようにならないか？

回答3

決まりどおりにいくと、そういうこともあり得ると思いますけれども、みなさんの色々な意見をお伺いして、調整をしたいと思います。美並小学校に通っている子どもたちより近い子どもたちがバスに乗っていくということもあり得ますので、保護者の間で話し合いを重ねながら、距離以外にも、通学路の危険度など、色々な基準を作って、周るコースや範囲を固めていきたいと考えています。

統合する4つの学校の地区からPTAの代表の方などが集まっていたり、検討委員会で、地区ごとの実情などを出し合って、妥協点を決めていきたいと考えています。具体的に言いますと、例えば、赤塚は房中と隣接しています。赤塚は、現在3 km以上を歩いて下大津小に通っており、一番遠いそうですが、今度通うことになる美並小学校は非常に近く、坂を上がると美並小学校があるので2 km台で行けるようになります。しかし、赤塚へ下りて房中まで行くともう少し距離がありますので、赤塚が歩きで房中がバスかということも考えられますので、境目というのは非常に難しくなってくると思います。そういうところを事務局でも色々な案は作りますが、保護者の方々と相談して、妥協点を出していかないとはいけません。

質問4

玉造地区のように小学生が自転車で通学という可能性はないのか？

回答4

自転車購入の補助を出している市があったり、市内でも志筑小学校が移転する前は一部の高学年が自転車で通っていたりというような例はありましたが、市の教育委員会としては、それはやらない方がいいのではないかと考えております。

ヘルメット被らせても、小学生に自転車通学させるのは、危ないと思います。また、ここから美並小まで、水資源道路の歩道もないところを子どもたちに歩かせるというのは、4 km未満だといってもどうなのか。それが地勢とか交通状況を勘案してということだと思います。歩道がきちんとあって、3 kmくらいだったら歩きでと言えますが、4 km近くあり、歩道もないので危ないと思います。バスで行かせるのが安全だと思います。

質問5

水資源道路に歩道を整備するという予定はないか？今も通っているので、それを進めていただければ中学生もありがたい。

回答5

一部で工事は始まるようですが、平成28年4月までに全部の歩道ができるというのは、難しいと思います。

意見1

水資源道路を通らず、下通りを通ってくるのであれば、歩きでも距離は別としていいかなと思うが、水資源道路は何もないところなので、距離の問題よりはどちらかという、それが心配なので歩かせたくない。不審者が出たこともある。

質問6

スクールバスが全体的に出れば問題はないが、もし徒歩というときには、6年生と1年生では体力的に違うと思う。学年によってバスに乗ることができるような選択はできればいいと思う。

回答6

学年で線引きしている例もあるようですから、事務局でいくつかのパターンを案として作って検討していただくようにしたいと思います。最初から言いますと、バスは希望する人だけが乗るのかどうかから検討をはじめ、有償か無償かの検討が必要となる場合もあると思います。有償にしている例では、2 kmの外に停留所を作って、2 kmぎりぎりの児童は一旦停留所まで歩いて、月額 3,000 円を払ってバスに乗っているところもあります。本市は学区審議会においても無償で運行するよという意見が出されていますので、現段階では、無償を想定していますが、先ほどの話の距離プラスアルファの部分で、歩道の有無や道路の広さ、坂道の有無、帰りが一人になってしまう場合など、色々な事情があると思いますので、そういったものを基準の中に盛り込んでいけば、納得していただける線が出てくるかと思っています。

歩いた方が体力が落ちなくていいというような話もありますし、自転車でいった方が自由がきく。ある程度の年齢になると、時間に縛られてバスで動くよりは自転車で動きたいという考え方も出てくると思いますので、そのあたりの希望も含めて考えなければならないと思っています。

質問7

中学校の部活について、現在、南中の生徒たちは夏と冬の部活動の終わりの時間が決まっていると思うが、統合した場合、遠い生徒はバスで近い生徒は自転車ということになると、部活動の時間も変わってくるのか？それともみんなが終わる時間まで待って帰るようになるのか？

回答7

部活動については、教育活動検討委員会で協議してもらおうようになると思いますが、スクールバスの運行例をみると、帰りは最低2便は出しています。小学校は高学年と低学年の下校時間の違いによるものと思いますし、中学校については、多分、部活動を想定しているのだと思いますが、やはり2便出しています。そういう意味では、帰りは部活動の終わる時間まで待って出るというのではなく、バスの時間を決めておいて、部活動はそれまでの時間にするなどの方が取られていると思います。あまり中学校の統合やスクールバスの運行の事例がありませんが、いろいろなところを調べながら資料を作っていきたいと考えています。朝練や、土日の練習については、スクールバスを出している例は見当たらない状況です。

質問8

下の県道を歩くとなると、歩道の整備はしてくれるのか？

回答8

県道なので、統合によって通学路となるので、早急に整備するよう要望していくことになります。

質問9

例えば、普段は徒歩通学をするが、帰りが一人になってしまうときに、今までのように保護者が送迎するのではなくて、せっかくバスが行くのだったらその時だけバスに乗ることはできるのか？

回答9

今の話のように融通が利く運行ができればいいと思いますが、通常は1年間を通して乗るという決め方をしているようです。

質問10

毎年、児童が入れ替わることになると思うが、バスの経路は1年ごとに変わるのか？

回答10

毎年の調整が必要だと思います。

質問11

中学3年生のときに統合となるが、制服やジャージはそのままというように聞いているが、来年度入

学する生徒は、統合しても制服は変わらずそのままなのか。また、部活動のユニフォームは。

回答11

制服等については、通常は、わざわざ買い直すということは大変なので、卒業までは、すでに着ている制服は、そのまま着て、買いなおす必要が生じたときは、新しい服を買うということになるようです。また、平成26年4月に入学する新入生は、新しい制服を決めて、入学時に着られるように、今から調整をするというような、スケジュールになるのが例のようです。ジャージについても同様です。

部活動のユニフォームは、市で、何らかの支援ができるように調整したいと思います。

質問12

統合後の新入生が、古い制服のおさがりを使うことは禁止か？

回答12

禁止することはないと思います。

質問13

統合時に3年生となる生徒は受験を控えている。先生は、どうなるのか。

回答13

南中からも北中からも、何人かは先生が行くことになると思いますが、十分に配慮したいと思います。

質問14

交流事業は、どのようなものになるのか。

回答14

学校行事での交流や部活動の合同練習などの機会がもてると思います。そのほか、授業や校外活動など、どのようなものが可能か、教育活動検討委員会で調整をして実施していただくことになると思います。

質問15

ケーススタディ事業とは。

回答15

実際に統合することになると、どのようなことを調整しなければならないか、どのくらいの事項があるのかということや、検討委員会は、どのようなメンバーで何人ぐらいで運営すればよいのかなど、いろいろなデータがとれますので、南北中を対象に実施していただきたいと考えているものです。その結果を、小学校の統合に反映させるようにしたいと考えています。

質問16

先進事例をみると、バスの所有形態が市で所有している例と、民間事業者の所有の例がある。かすみがうら市ではどのようになるのか。運行形態は、民間事業者に委託しているようだが、その場合は、

校外学習などにも利用できるのか。

回答16

市が所有するかどうかは、バスの購入に対する補助制度がありますので、補助の対象となれば、購入して運行を委託することで委託費が安くなるということがあると思います。学校行事への使用については、委託契約の条件の中に、回数や距離等を織り込むことができれば可能だと思います。

質問17

跡地は何になる予定なのか。グラウンドを借りることはできるか。

回答17

現在は、決まっていません。施設のまま利用することが最優先ですが、適当な利用方法がない場合には取り壊すこととしています。いずれの場合でも、地域の皆さんの理解をいただけるような使い道となるよう検討するという考えです。

質問18

地区ごとにスポーツ少年団があったが、新しい学校で少年団を作るようになるのか。

回答18

基本的に、スポーツ少年団は任意団体ですので、新しい小学校を機軸として設立することも、今までどおり活動することもできると思います。

質問19

スクールバスを運行する場合は、小学校に集まって乗るのか、停留所を作って乗るようになるのか。

回答19

先進事例では、停留所は10箇所程度設置しています。また、自宅から停留所までの距離は500m程度としている例が多いようです。

質問20

学童保育は、新しい学校で開設するのか。各地区で開設するようになるのか。

回答20

放課後児童クラブについて、今までの経過、保護者の意向としては、なるべく子どもたちが学校から移動しないように、学校の教室での開設を望んでいると捉えていますので、新しい学校の余裕教室で開設するのが自然な流れではないかと考えていますが、結論は出ていません。千代田地区には、児童館もありますので、その利用を含めて検討することになります。

質問21

中学校26年度、小学校28年度ということは決定なのか。

回答21

今後、皆さんの理解がいただけるように、議会や地区の説明会等を開催していく予定ですが、理解

を得られた順から実施することもあるとしています。できれば、足並みを揃えて実施をしたいという考えです。

質問22

統合して、美並小学校の校舎は、教室が足りるのか。足りないとすれば詰め込むことになるのか。

回答22

推計では、統合時の学級数が14学級と見込んでいます。また、現在の特別支援学級数が3学級ですので、合わせると17学級となります。一方で、現在の校舎で普通教室として使用可能なのは13教室ですので、増築が必要となります。

質問23

この組合せであれば、別の近くの学校に行くということはないか。学区を選べるということはないのか。

回答23

今回は、児童・生徒や保護者が、新しい環境に円滑に移行できるよう、また、地域との連携を保てるよう学区の直しは行わないで統合を行うこととしています。学区を選べることにはなっていませんが、事情によって、区域外就学というかたちで許可しており、今後とも同様の対応をしていきます。